

芦北町議会だより



うたせ

第38号

平成26年
8月5日発行



第27回ビーチバレーinくまもと（7月5日・6日）鶴ヶ浜海水浴場・マリンパークビーチ

- 6月定例議会 …………… P 2～3
- 臨時議会 …………… P 3
- 各委員会の閉会中の継続調査 …… P 4
- 一般質問 …………… P 5～7
- 議会のうごき・編集後記 ……… P 8



312チーム参加

6月定例議会



6月定例議会は、6月17日に招集され20日までの4日間の会期で開催した。

上程されたのは、平成26年度一般会計補正予算の専決処分承認1件・一般会計の繰越明許費繰越計算書等の報告6件・議案は、一般会計補正予算等10件・固定資産評価員の選任の同意1件・公有水面埋立の意見1件が全会一致で原案の通り可決した。

主な質疑

質 地下水位制御システム工事の使用する特殊機械の購入が無いという事で、工事が遅れ事故繰越をしているが、もう少し詳しく説明を願いたい。

答 当事業は、湯浦の豊岡地区で測量設計の調査中に、岩盤の中に石が多く漏水の恐れがあると判明した為、至急委託契約を中断し、

漏水調査の透水検査を実施したところ、この事業に使う機械は特許製品という事で、すぐには調達できないことが分かった為、国・県と協議し事故繰越の手続きを行ったものである。

質 芦北海浜総合公園管理運営費、公園施設長寿命化計画策定調査業務委託料が計上されているが、この中身について詳しく説明してほしい。

答 都市公園として指定されている芦北海浜公園の施設並びに遊具等の改築をする場合、国が事業費の二分の一を補助する事業である。

質 防火水槽設置工事について、設置場所と何基設置するのかお尋ねしたい。

答 告の漆川内地区に40トンの防火水槽1基を設置する。



防火水槽予定地

質 避難行動要支援対策協議会委員の報酬が計上されているが、会議のメンバー、回数等、今後いつ頃を目処に実施されるのかお尋ねしたい。

答 全体で15人程度の委員で組織し、協議会は年3回ぐらい開催予定である。また、10月頃を目処に支援計画を策定したい。

質

有限会社あしきたマリンサービスの経営状況の報告で、損益計算書の売上原価の当期製品製造原価が前年比500万円ほど上がっている。そのため、利益が前年より少なくなっていると思うが、なぜか。

答

2日間、食中毒を受けて営業停止した。自主的に10日間ほど、一部食堂の営業を自粛し、その折に弁当を朝・昼・夜支給した。その弁当が約6,700食に及び、その分の仕入れが増加したためである。

固定資産評価員の選任に同意

芦北町税務課長

えがみ しげる
江上 繁氏

6月定例議会で4,673万円増額 (一般会計総額 99億8,911万円)

◎補正予算の主な事業(一般会計)

防火水槽設置事業	5,218千円
女島活力推進センター環境学習公園芝張等整備事業	19,851千円
牛の水漁港改修事業	2,038千円
農業施設化設置事業(果樹)	406千円
公園施設長寿命化計画策定調査業務委託	6,443千円
観光施設IC活用技術習得事業	4,856千円
御立岬温泉センター管理運営事業	1,276千円

臨時議会 — 農業委員に4人を推薦 —

第4回芦北町議会臨時会は7月8日招集され、1日間の会期で開催した。審議内容は以下のとおり。
・芦北町農業委員会の改選に伴い、4人の委員を議会から推薦した。



さかぐち 恵美子
坂口 恵美子氏
(再) (大川内地区)



みやはら 千代子
宮原 千代子氏
(再) (告地区)



さいもり 久
才守 久氏
(再) (天月地区)



みのだ 正志
蓑田 正志氏
(再) (簗瀬地区)

各委員会の閉会中の継続調査

各常任委員会及び議会運営委員会では、下記のとおり議会の閉会中の調査を予定しております。

総務常任委員会

事 項	理 由
①防災に対する危機管理体制の調査について	①災害に対する危機管理体制の調査を行い安全・安心に対応するため。
②ふれあいツクールバス実証運行に関する調査について	②現状把握及び今後の運行状況を確認し、対応策を講ずるため。
③議会の改革及び活性化に関する調査について	③地方自治法の一部改正に伴う内容等を確認し、議会の改革及び活性化に向けた対策を講ずるため。

建設経済常任委員会

事 項	理 由
①災害危険個所の調査及びその対策について	①住民の安全安心のため。
②大規模太陽光発電所(メガソーラー)に関する事業の調査について	②事業の進捗状況を確認するため。
③漁業振興対策に関する調査について	③漁業協同組合合併後の漁業振興対策について調査活動を行うため。

文教厚生常任委員会

事 項	理 由
①町内小中学校の安全安心に関する調査について	①児童生徒が安心して学校生活を営むための現在の状況を調査する必要があるため。
②保育所民営化に関する調査について	②保育所の民営化に向けた検討の進捗状況を確認するため。
③地域福祉の推進に関する調査について	③地域福祉の推進について、民生児童委員との意見交換を行うため。

議会運営委員会

事 項	理 由
議長の諮問にかかる次の議会（臨時会を含む）の会期日程等議会運営に関する事項について	次の議会（臨時会を含む）の運営を円滑かつ効率的に行うとともに、議長からの諮問に応じて調査を行う必要があるため。また、議会運営に関する事項を調査する必要があるため。

一般質問 (抜粋)



坂本議員

瀬戸石ダム湖周辺の 体積土砂の撤去は！

質 海路地区の平谷川、内木場川の土砂撤去を撤去工事計画の中に入れて確実に撤去できるよう、申し入れて頂きたいかがか。

答 企画財政課長

国交省の管轄外であるが、電源開発の責任で平谷川は今年度、撤去予定であり、内木場川は来年度以降の撤去を検討している。

洪水時の簞瀬地区の 要望について問う

質 球磨川洪水時、陸の孤島となる同地区住民に対し、緊急の病人、怪我人の対処、救助計画等は、町としてどのようになっているか。

答 総務課長

地区からの要望は無いが、当地区に限らず必要と認められた場合は、防災ヘリ、ドクターヘリ、自衛隊ヘリへの要請が可能であるが、町として事前に避難準備情報等の伝達を行うこととしている。

質 洪水時同地区に土砂が道路上に残ったまま放置されている。ダム湖周辺は、電源開

発が責任を持って処理すると明言している。町として申し入れて頂きたいかがか。

答 企画財政課長

道路上に残った土砂は、町が道路管理者として対処しており、電源開発への申し入れは必要ないと思う。なお6月16日現在、区長への確認及び現地調査の結果、土砂の放置はない。

質 災害時に備え県道球磨田浦線(白石と和田口)の嵩上げを県に要望してほしいかがか。

答 企画財政課長

球磨川上・中流域改修期成会で、県知事並びに県議会への要望や、ダムによらない治水を検討する場などの機会がある毎に、国土交通省や県に要望している。

答 町長

県はこの件については、明確な回答を示していなかったが、最近になって、「検討してまいります」という回答を聞いたところであり、これから具体的に詰め協議に入ることになっている。

介護保険制度見直し によるサービスにつ いて問う

質 現在要介護1、2の認定者数は何名か。うちサービスを受けてる方は何名か。

答 住民生活課長

本年4月末現在で、要支援1が389名、要支援2が222名、合計611名。うちサービス利用者は要支援1が258名、要支援2が171名で、合計429名となっている。

質 新しい総合事業に移管した場合のサービス低下はあると思うか。また、町が受け皿の場合の不安や懸念、問題点は感じていないか。

答 住民生活課長

今、国会で審議中であり、現在の財源は維持されると、国、県から説明があった。また、サービス低下がないよう事業運営に努める。

質 サービスが低下しないように、どのような計画を考えているか。

答 住民生活課長
第6期介護保険事業計画の計画策定の中で、十分検討したいと思っている。

質 要支援者を介護保険給付から外し、自治体事業へ責任を押し付けようとしている。このような医療・介護総合法案についての町長の考えは。

答 町長

2025年問題(75歳以上の高齢者が急増2,000万人を超える)を見据えた医療・介護制度の大改革であると認識しており、サービスが低下することのないよう万全を期していく。今後も医療並びに介護保険制度の適正な運営により、町民の安全・安心に取り組んでいく。



芦北町老人保険福祉計画・介護保険事業計画運営調整委員会



荒川議員

光通信を町内全域に！

質 光通信が町内全域に開通することにより、家のテレビと連動させることで、町の行事等の映像も町民の皆様へテレビを通じて快適にお届けできることや、お悔やみ情報や町の情報等も知りたいときに簡単に知ることが出来る環境が整うと思われる。町内全域で早期に開通するように、町として通信会社に要請する考えはないか。

答 町長 通信事業については民間事業者が事業主体であり、採算制等を考慮してサービスの提供を行うので、今後の進捗を見守りたい。

質 人口が約一万人の球磨郡多良木町では、多良木町光ブロードバンド整備事業により、多良木町全域で光ブロードバンドのサービスが提供されている。私は、町内各地域を回り、一人暮らしをされている高齢者の方がいかに多いかを痛感した。光通信が町内全域に導入されることになれば、一人暮らしで寂しい生活をされている高齢者の方は、都会で暮らす子どもや孫たちと、家のテ

レビを通じて通話料無料でテレビ電話を利用することもでき、また最近では町内の病院に通うことができない山間地域の高齢者の方もおられる。そういう方のために遠隔医療も提供できるようにする。光通信の環境が整った過疎地域に拠点を移して、業績を伸ばした中小企業の事例等もある。

本町が今後発展していくため、また町民の皆さまに、より快適な生活を送れるように、様々な事例を含め検討をしてほしい。

実家に定住する若者へ、家の増改築や新築に対する補助は

質 実家を離れて暮らす若者が多いという現状もあり、過疎化や核家族化が深刻な問題となっている。過疎化や核家族化を防ぐためにも、実家に定住する若者に対して、家の増改築や新築に要する費用の一部を補助する新たな制度をつくる考えはないか。

答 町長 現在、木造住宅建築支援事業をはじめ、浄化槽設置整備

補助金、太陽光発電システム設置費補助金等々、家の増改築や新築に対しての補助金制度は充実していると考えているので、新たな制度をつくる考えは今のところない。

質 65歳以上の人口が50%を超えている行政区が芦北町には16行政区ある。限界集落という言葉があるが、限界集落という言葉の定義は65歳以上の方が過半数以上を占める集落となっている。つまり人口百人の集落において、65歳以上の方が51人いた場合、この集落は限界集落ということになる。この定義に従うと、本町には16の行政区が限界集落の定義に当てはまることになる。

こういう深刻な問題に対応するためにも、実家に定住する若者に対して支援する新たな制度が必要と思われる。また、実家に定住することにより、おじいちゃん、おばあちゃんや孫との交流も活発になり、文化の継承や教育の面でも果たす役割は大きいものになると思われる。

町の広報紙や封筒に町内企業の広告を

質 現在、本町が発行する広報紙や封筒には広告は掲載していないが、町内企業に限定して、また一定の審査基準を設けて広告を掲載し、広告収入を得て財源の一助とする考えはないか。

答 総務課長 自治体の広報紙等の広告掲載については、熊本県内の実態を見ると、メリット・デメリット、それぞれある。他の自治体の状況などを参考に、今後の課題とする。

質 水俣市でも市内の企業の広告を載せている。水俣市だけではなく、熊本県庁の封筒にも広告の掲載がある。また熊本県庁では県庁内のロビーやエレベーター内でも県内企業の広告を掲載して、新たな財源として取り組んでいる。

全国規模で見れば、様々な自治体が新たな財源として広報紙や封筒などに広告を掲載している。また、自治体が運営するホームページにバナー広告を募集している事例もある。本町としても財源の一助となるように検討してほしい。

一般質問 (抜粋)



川尻議員

町営住宅の入居順位はどのように決定するのか！

質 全町営住宅の入居状況は現在どうなっているのか。

答 建設課長

公営住宅は、17団地、572戸を管理しており、現在入居可能な空き家が、4団地4戸あるが入居希望者がいない状況である。退去による空き家は、6団地10戸あるが、今畳替えや室内の塗り替え等の整備をしている。特定公共賃貸住宅は3団地、65戸を管理している。

質 入居順位の決定はどのような規定になっているのか。

答 建設課長

新たに住宅を建設し、募集を行ったときには補欠入居者の順位を決めるが、通常は入居補欠者及びその順位は決めていない。入居者の選考は芦北町営住宅管理条例第9条第1項の規定に基づき、住宅に困窮する度合いの高い者から決定している。

質 待機している入居希望者に対し、公正で適正な不服の出ない入居決定方法になっているか。また新たな考えはないか。



湯南団地

答 建設課長

住宅の困窮度合いを総合的に判断する。

たとえば、住宅以外の建物や場所に住んでいる。安全上危険または衛生上有害な状態にある。他の世帯と同居だが、生活上著しく不便である。住宅がなく親族と同居できない。住宅の間取り設備と世帯構成の関係から衛生上不適当な居住状態である。正当な立ち退き要求を受けているが立ち退き先がない。勤務先から著しく遠隔地に住んでいる。

収入に対して現在の家賃が著しく過重である。などこれらのことを総合的に判断し選定している。

答 町長

担当課で規定に基づき臨んでいることは御理解頂いたと思う。これからも公平性を保ち住民の皆様が納得できるような対応を考えて行きたい。

三役の写真位置は

質 町広報紙の文化振興奨励賞、スポーツ賞受賞者と町三役の写真が掲載されたが、三役が中心に写っている。受賞者を中心にするのが良識であると考えているが、真意はどうか。

また、広報紙に町長自身が中心となった記事が目立つ町長中心の広報紙ではとの声を聞くが、この意見に対しどう思われるか。

答 総務課長

表彰式など式典後の記念撮影では、主催者が顕彰する意味においても中央に位置するのは社会通念上妥当なことであると考えている。さらに町

長は自治体や住民を代表する立場にある以上一定の露出は避けられない。なお昨年度は県の広報コンクールで表彰を受け客観的評価を得ている。

質 何月号が表彰を受けたのか。

答 総務課長

昨年の9月10月11月号分が対象になっている。31町村のうち受賞は5町村である。

質 以前は教育長のみが載っていたが、副町長、町長が加わり、威圧感が感じられるか。どう思われるか。

答 町長

スポーツ、文化の奨励賞も熊本県内の町村では我が町だけであり、その表彰制度そのものに意味がある。この制度によりスポーツ、文化が振興しているかを研究していただきたい。

表彰式では、一年間の活躍に敬意を払いながら激励を讃えている。その結果記念写真を撮る。後は編集担当が行うが、知事、総理大臣表彰でもこの配列は社会通念上妥当とされている。

議会のうごき

- 4月 4日 改選後の臨時会(初議会)前の議員懇談会
- 7日 第2回芦北町議会臨時会
- 16日 議会広報特別委員会
- 5月12日 水俣芦北広域行政事務組合監査
- 12日 議会広報特別委員会
- 13日 熊本県町村議会議長研修会
- 19日 水俣芦北広域行政事務組合議会臨時会
- 20日 水俣芦北地域振興財団第12回理事会(熊本市)
- 20日 熊本県町村議会議長会各郡提出案件の
県当局等への実行運動(熊本市)
- 20日 熊本県町村議会議長会第1回理事会
- 27日 第39回町村議会議長・副議長研修会
～28日(東京)
- 6月11日 議会運営委員会
- 17日 第3回芦北町議会定例会開会(議案審議)
- 20日 第3回芦北町議会定例会最終日(一般質問)
- 20日 議会広報特別委員会
- 7月 8日 第4回芦北町議会臨時会
- 15日 議会広報特別委員会

次回の議会は9月中旬の予定です。

第39回町村議会議長・副議長研修会



第39回町村議会議長・副議長研修会が、5月27日から28日まで東京メルパルクホールで開催され、芦北町議会から寺本議長と水口副議長が出席しました。

全国町村議会から約1,500人の正・副議長が出席し、2日間の日程で行なわれました。

研修会は、山梨学院大学法学部江藤敏明教授、民俗研究家の結城登美雄氏、ジャーナ

リストの後藤謙次氏による講演と「これからの町村議会のあり方」をテーマとしたシンポジウムが行われました。

シンポジウムでは、全国4名の町村議会議長がパネラーとして登壇され、それぞれの町村の紹介と議会活動の報告がありました。

なお、熊本県御船町の岩田議長もパネラーとして参加をされていました。

編集後記

今年が高知県四万十市では、たった1日で平年の6月1ヶ月分の雨量にあたる500ミリの降雨があり、6月24日には東京都内に大粒の大量な雹(ひょう)が降りました。

7月3日長崎県では50年に一度という大雨が降り、さらに7日未明には熊本県天草市で時間雨量100ミリ近くの大雨で8万7千人に避難勧告が発令されました。

また、大型で非常に強い台風8号の接近に伴い特別警報が発表され沖縄県は53万人に避難勧告を発令しました。本町でも災害対策本部を設置し、避難所を開設するなど対策がとられました。

異常気象現象が各地で続いています。近年は異常が常態化している感じがします。

昨年夏は8月12日に高知県四万十市では気温が41度という日本の観測史上最高を記録し、まさに各地で最高気温40度を超えるなど、記録更新ずくめの年でしたが、果たして今年は…。

健康管理には十分注意されこの夏を乗り切りましょう。

(平松)

議会広報特別委員会

委員長	宮内 道則
副委員長	平松 洋一
委員	宮尾 秀行
〃	前田 徹一
〃	白坂 康浩
〃	荒川 知章

